

記憶・思い出を取り入れた新しい形のリサイクルモデル

実施日：平成29年6月4日～6月10日 於：チェコ、フランス（パリ）

■ 派遣専門家



米村 修治

びあ株式会社ライブ・クリエイティブ
事業局 新規事業担当

関西学院大学卒業後、金融関連企業、技術系ベンチャー企業の設立などを経て、びあ株式会社に入社。新規事業の担当として2014年国立競技場を第一弾として「RE:MEMBERプロジェクト」を始動。ホール・スタジアム・歴史的建造物の貴重な思い出と歴史的遺産を後世に継承するにあたり地元企業と連携してプロジェクトを実施する事で、地域社会活性化の一助となる事を目的としています。

■ 事業概要

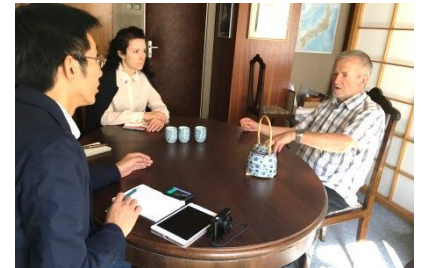
● チェコ



芸術関係者、学生、一般市民などに向けた講演会



チェコメディアによるインタビューの様子



国立劇場関係者との意見交換

● フランス（パリ）



パリ日本文化会館での講演会



デザイングループSISMO Designとの面会



パリ市再開発プロジェクト担当者との意見交換

■ 実施結果

「RE:MEMBERプロジェクト」とは、国立競技場や両国国技館など人々の記憶に残る施設の修復や解体に当たって発生する廃材を思い出の品として再生して販売するプロジェクトです。また、中小企業や伝統工芸の職人の方が商品製造を担い、その技術力の高さを伝えつつ、商品利益を新たな社会貢献活動の原資として活用する目的もあります。そのプロジェクトの責任者・米村修治さんがチェコとパリを訪問し、講演会を行いました。併せて、チェコでは国立美術館・国立劇場・建築家との面談、パリでは建築家・デザイナー・パリ市再開発プロジェクト担当者等との意見交換を行い、各地でのリサイクルプロジェクトの実施について話し合いました。事業に関し、現地主要紙が記事を掲載しました。